学校番号	１００８

令和３年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年後期
使用教科書	「現代高等保健体育」　（大修館出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解しよう。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

２ 学習の到達目標

・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:知識・理解
観点の趣旨	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康･安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康･安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。
評価方法	ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング その他成果物	定期テスト ワークシート ディスカッション等の事例を用いた活動 実習 ブレインストーミング その他成果物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
後期	現代社会と健康	感染症とその予防 1.病原体が原因の病気を感染症という 2.問題となる感染症は変化してきている 3.感染症の予防は、社会と個人で取り組む		○	○	a:感染症について調べ、現在どのような感染症があるのか、また、流行しているのかを調べたり、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。 b:感染症を予防し流行を防ぐためにはどのような対策が必要か、個人でできる対策、社会的な対策に分類して考えることができる。 c:感染症問題に関して例をあげて説明したり、感染症の予防対策について、個人でできる対策と社会的な対策について分類して、記述・説明できる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		性感染症・エイズとその予防 1.性感染症・エイズが若者の間で問題となっている 2.性感染症・エイズは予防できる		○	○	a:性感染症・エイズとその予防について課題の解決に向けての調べものや、意見交換・話合いなどの学習活動に取り組もうとする。 b:性感染症・エイズの現状を知り、感染拡大の理由やどのように予防するのかを考え、意見交換することができる c:性感染症・エイズとその予防には、社会的な対策を前提とした個人の取組が必要であることについて理解し、説明や記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		医薬品と健康 1.医薬品には種類があり、それぞれに合った使用法がある 2.医薬品には主作用と副作用がある。 3.安全に私たちが医薬品を使用できるように様々な取り組みがある		○	○	A 医薬品の種類や正しい使用法に行いて、意見交換・話合いなどの学習活動に取り組もうとする。 b:私たちが医薬品を安全に使用するために身の回りではどのような取り組みがあるか、意見交換することができる c:医薬品の正しい使用法や医薬品の主作用や副作用、安全対策について理解し、説明や記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等

		欲求と適応機制 1.欲求は成長とともに多様化する 2.欲求不満や葛藤をやわらげる心の働きがある	○		○	a:欲求・欲求不満・適応機制について心と体のつながりついて調べたり、自身の行動を振り返り記述するなどの学習活動に取り組もうとする。 b:欲求の種類を理解し、欲求を分類したり、適応機制について自身の行動を振り返り、心と体がどのように作用しているか考えることができる。 c:人間の欲求の種類を理解し、欲求不満に対処するための適応機制の例をあげて説明、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		心身の相関とストレス 1.心と体は一体となって働いている 2.ストレスは、心と体に影響を及ぼす		○	○	a:心身相関やストレスについて考え、心と体の関係性、ストレスについて調べたりする学習活動に取り組もうとする。 b:心と体の関連について考え、ストレスの原因について自身の考えを発表したり整理したりすることができる。 c:心と体の働きが相互に影響しあう関係やストレスの心理・社会的要因と物理的要因について説明・記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		ストレスの対処 1.ストレスにはさまざまな対処法がある 2.自己実現は、心の健康につながる		○	○	a:ストレスへの対処について、調べたり、自身の実生活と置き換えて考えたりする学習活動に取り組もうとする。 b:ストレスに対するさまざまな対処法について調べ、どのようにストレスと関わっていくことが必要か、自身の生活を振り返って考えることができる。 c:ストレスへのさまざまな対処法の例をあげることができ、自己実現と心の健康の関係について考え、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		心の健康と自己実現 1.自分なりの目標に近づけたり、達成することを自己実現という 2.現在の到達点での自己評価をする 3.他者の価値観を尊重する		○	○	a:自分の目標やその過程での達成目標について考える学習活動に取り組もうとする。 b:自分の目標についてどのような道筋を立てて達成に近づいていくか、自身の今の状態を振り返って考えることができる。 c:自己実現に向けての目標や現在の到達度について考え、述べたり記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		交通事故の現状と要因 1.若者では自動車と二輪車の事故が多い 2.3つの要因がかかわって交通事故が起こる	○		○	a:交通事故の現状とその原因について資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:交通事故の現状を踏まえ調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりすることができる。 c:交通事故には、車両の特性や、当事者の意識や行動、周囲の環境が関連していることについて理解し、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等

		交通社会における運転者の資質と責任 1.自分や他人を尊重する 2.状況の把握と適切な行動を心がける 3.交通事故には様々な責任や補償がある	○		○	a:交通社会において運転者に求められる行動や資質などについて考えるなどの学習活動に取り組もうとする。 b:交通事故の要因となるものやその例について日常生活から見つけたり、整理したりすることができる。 c:交通事故には、適切な状況判断が必要であるということや交通事故の際に起こる責任や補償について理解し、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等
		安全な交通社会づくり 1.安全のために法的な整備と設備、施設の充実が図られている 2.車そのものの性能を向上させ安全な交通社会づくりを目指す。	○		○	a:交通事故の現状とその原因について資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。 b:交通事故の現状を踏まえ調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりすることができる。 c:交通事故には、車両の特性や、当事者の意識や行動、周囲の環境が関連していることについて理解し、記述することができる。	ワークシート 課題学習の成果物等 授業内のまとめテスト
後期		1，2年次これまでに学習した範囲すべて	○		○	a:自分の発表に対して、しっかり意見や考えを述べたり、相手に生徒の発表に対して質問をしている。 b:発表者の主張をとらえ、正しく評価できる。 c:各発表を聞いて気づいたことや学んだことをメモしたりまとめている。	発表のできばえやレジュメのできばえ

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。